

はじめにお読み下さい！

＊＊ 「貝毒プランクトン出現状況」の調査点と貝毒原因プランクトンについて ＊＊

宮城県水産研究開発センター環境養殖部

1. 水産研究開発センターの貝毒調査点

水産研究開発センターでは図1に示した貝毒調査点（石巻市荻浜・荻浜沖、女川町塚浜）で、貝毒プランクトンのモニタリングを行っています。

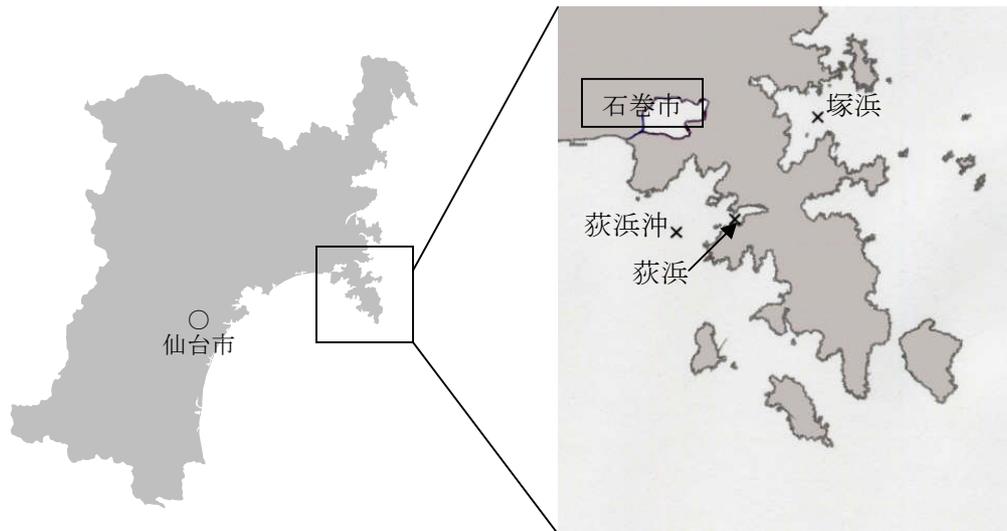


図1 貝毒調査点

2. 貝毒プランクトンについて

(1) 下痢性貝毒

当県における下痢性貝毒原因プランクトンは、ディノフィシス(*Dinophysis*)属です。ディノフィシス属にはディノフィシス・フォルティ(*D. fortii*)やディノフィシス・アキュミナータ(*D. acuminata*)など多くの種類があります。当県で主に下痢性貝毒の原因になっているのはディノフィシス・フォルティです。

(2) 麻痺性貝毒

当県における麻痺性貝毒原因プランクトンは、アレキサンドリウム(*Alexandrium*)属です。当県で出現するアレキサンドリウム属には、アレキサンドリウム・タマレンセ(*Alexandrium tamarense*)とアレキサンドリウム・カテネラ(*Alexandrium catenella*)の2種類がありますが、2月～5月に発生する麻痺性貝毒の原因プランクトンはアレキサンドリウム・タマレンセです。「貝毒プランクトン出現状況」では速報の配信を優先し、種の同定を行わずにアレキサンドリウム属(*Alexandrium* spp.)として速報します。